

デジタルアーカイブ・コーディネータ試験

◆メタデータ記入用紙

受験者氏名



郡上おどり 演目：古調かわさき

資料コード	Circd07-0001
原資料ファイル	Circd039c-0005. jpg
地域・場所	岐阜県
内容分類	伝統芸能
年代・年	江戸時代
分類コード	伝統文化 0001 (踊り)
表題名称	郡上おどり
表題名称 NO.	0001
提示資料名	古調かわさき
提示資料 NO.	0001
利用分野	地域資料 民俗芸能 学校教育 生涯学習 観光
所蔵場所	岐阜女子大学文化情報研究センター
登録日	2007/05/29
登録者	加藤真由美
著作権	岐阜女子大学文化情報研究センター
撮影日	2006/09/23-24
索引語	伝統文化 踊り 国指定重要無形文化財 民俗芸能 郡上おどり 古調かわさき 盆踊り 民謡
説明	<p>起源はさだかではないが、400年ほどの伝統を持つといわれ、郡上おどりは日本を代表する盆踊りの1つとして、1996年12月20日に国の重要無形文化財に指定されている。演目は古調かわさき、かわさき、三百、春駒、猫の子、さわぎ、甚句、げんげんばらばら、ヤッチク、まつさかの10種あり、中でも国の選択重要無形文化財である「古調かわさき」は古く、天正年間に伊勢の参宮道者によってもたらされた踊りがもとになっており、昔の農耕の所作が取り入れられている。また歌詞も庶民生活に根ざしたものや作業歌が残されている。演目かわさきは古調かわさきの動きを取り入れ、新かわさきとして振り付けられた。この新かわさきを世に出すべく、大正11年に郡上おどり保存会が結成され、現在も八幡町の有志による郡上おどり保存会によって郡上おどりは踊り継がれ、毎年7月中旬から9月上旬、とくに8月中旬の徹夜おどりには県内外から多くの踊り客で賑わう。</p>